

ボランティア団体『布っ子』、26年の軌跡



「布っ子」について

平成11年6月、公民館講座の受講生の有志によって結成された手づくり布の絵本制作ボランティア「布っ子」。令和7年度末、多くの町民に惜しまれながらその長い活動の歴史に幕を下ろしました。子どもたちの心身の成長を願い、一針一針に思いを込めて走り続けた26年間の軌跡を振り返ります。

主な活動内容と功績

手づくりの布の絵本等の制作を中心とし、障がいのある子どもや乳幼児の心身の機能を育む“さわる絵本”の制作を開始。版元の許可を得て原本に忠実に作られた作品は、町立図書館に寄贈・登録され、町内の保育所や幼稚園の読み聞かせで今も大活躍しています。



「一針体験」を通じた町民との繋がり

第1回図書館まつりでのタペストリー「地雷よりもお花をください」の制作を皮切りに、毎年テーマを決めて数々のタペストリーを制作。図書館まつりや「ふくおか“きずな”フェスティバル」での一針体験の参加者は、累計で1万人を超えるほどの大きな広がりを見せました。



「布っ子」の主な表彰履歴

受賞年月	表彰名・授与組織
令和元年11月	全国優良読書グループ表彰 (公益社団法人読書推進協議会)
令和元年12月	最優秀賞 (手づくり布の絵本全国大会／ 桐生市教育委員会)
令和2年2月	福岡県教育文化表彰 (福岡県教育委員会)
令和3年4月	子供の読書活動優秀実践団体 文部科学大臣表彰

令和8年度 桂川町文化祭への展示
10月31日(土)～11月1日(日)に開催される桂川町文化祭にて「布っ子」の作品が展示されます。是非ご来場ください。

地域を超えた活動と次世代への継承
活動は桂川町内にとどまらず、福岡県子ども図書館「ゆずりはの会」や他市町のイベント等でも講師を務め、筑豊地域内外へ布の絵本の魅力を広めました。また、町社協と連携した子育てボランティアの育成や、昨年度からの「小学生読書リーダー養成講座」では講師として19名の読書リーダーを誕生させるなど、次世代へのバトンタッチにも尽力されました。